

宮園薬師堂

宮園集落の中央部の菊池川堤防沿い一帯を「薬師町」と言い、古寺跡を示す小字名が残っています。肥後国詩にも「台宗の古寺跡で、開基などは解りませんが、本尊は薬師如来です」と記録されています。以前は「薬師町」のほば中央の田の中に建っていました。昭和49年の農地基盤整備事業で、約100坪北西側に移転したので、古寺跡は現在水田となっています。



認定番号第ふるさとH23-7号 推薦者 宮園区

御堂には薬師如来座像を中心として、守護するように、左右6体ずつ小さな仏像が配祀されています。毎年7月7日には区民全員による「お薬っさん籠り」があり、翌日は「悪病払い」が行われます。

築地井手

(分水神と加藤清正公石像)

慶長10年加藤清正築造といわれ、築地で菊池川から分水し、村内を貫流、巨、片角、隈府、北宮、大琳寺、野間口、深川西寺の水田約2200畝を潤しています。かつては生活用水としても利用されており、防火用水としては現在も利用されています。「分水神」は慶長3年築地井手築工に際し守護神として祭祀された分水神様で、毎年12月1日分水神様祭りを築地区民で座を開き、水田の豊作と区民の幸せを祈願しています。「加藤清正公像」は、大正12年に清正公の建設技術と徳を称え、永久に恩恵を伝えるために建立されました。築地区から東福寺辺りまではホテルの名所として有名です。



認定番号第ふるさとH23-8号 推薦者 築地区

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968 (23) 1155

大智禅師650回御遠忌 記念聖護寺展 期間 ~9月13日(木)

入木会・菊池JA書道展 期間 9月15日(土)~9月30日(日)

条幅作品を中心として生活を豊かにする書をテーマにしました。和洋を問わず生活空間を生かすことを目標にしました。ぜひご覧ください。



開館時間 午前9時~午後6時 ※期間中の休館日なし

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968 (24) 6630

「私だけの富士山」写真展

期間 9月11日(火)~9月23日(日) ウェルシティ熊本フォト倶楽部 高野恭一 雪深い3月上旬、三ツ峠山に7日間籠り撮影した、さまざまな佇まいの日本人の心「私だけの富士山」を展示します。

パッチワーク&草木染&古布で作った作品の仲間展

期間 9月25日(火)~10月8日(月) 輝楽里工房 坂本よしみ 手作りの温かみに魅せられて、楽しく作品作りをしています。あなたも、手作りの温もりに触れてみませんか？

まちかど資料館企画展 大塚耕二・遺作展

期間 ~11月25日(日) 若き画家の精神の葛藤を満洲ハイラル駐屯地で遺した軍隊日記の原文で垣間見、もう一人の大塚耕二をご紹介します。



※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

人権同和教育シリーズ ⑧4

地域人権教育指導員(菊池)

恵楓園説明ボランティア

稲田京子さん



人権回復をめざして

「新しく知ることばかりです。」と、ハンセン病回復者の女性の方に私が言う「えっ！知らなかったの。信じられない。」と優しく、驚くようにつぶやかれました。菊池恵楓園の壁の中のことをこれほどまで知らない人が、壁の外にはいるということに驚かせてしまいました。知ろうとしなかった自分に向き合うことになりました。1996年「らい予防法」が廃止されてから、菊池恵楓園へたくさんの方が研修に来られ、約90年間の信じがたい人権侵害の歴史を学んでいかれます。研修参加者は、療養所内に、監禁室や納骨堂・葬儀の行われる会館・コンクリートの厚い壁・火葬場などがあつたこと自体に驚かれます。ハンセン病は、「もう、いいかい。まあだだ

よ」と川柳に詠まれたように、亡くなってからも遺骨になっても帰れない、つまり、終生隔離・強制隔離で、退所規定の無かった「らい予防法」のために怖い病気であると社会に浸透していききました。偏見と差別ゆえに、入所者だけでなくその家族・親戚の方々も苦しまれました。私は、ボランティアとして、ハンセン病はごく弱い感染症の一つであること、現在は治療法も確立され、後遺症も残さず完治するようになったこと、終生隔離・強制隔離は間違いであったこと、社会のハンセン病に対する偏見が強かったために差別事件や冤罪事件があつたことを説明しています。また、1950年代からハンセン病療養所の入所者の方々が自治組織を結成して、薬剤師・看護師・保健師・教育の機会均等を求めはじめ療養生活の改善、福祉の向上、人間としての尊厳を取り戻す孤高の闘いをされてきた思いを大事に伝えるようにしています。さらに、住民も一緒になった「無らい県運動」では、病気(病原体)を根絶しようとしたのではなく、病人を根絶しようとはせず、戦後も基本的な人権を侵してまで根絶しようとしてきたことは恐ろしく、私はこんな過ちを繰り返してほしくないという願いで、今後、新しい病気が難病に対しても、「人一人として見る」ことを教訓として、研修参加者へ話しています。 今後、回復者(病気は回復されているものの後遺症が残り療養されているの方々)の奪われてきたものの大きさや無念の思いが少しでも減っていくと活動しています。「母親が亡くなった時、知らせたほしかった。」とおっしゃる方もいます。ふるさと・家族・人生・夢・名譽・治療を受ける権利・就職する権利・子どもを産み育てる権利など、さまざまな権利をどこまで取り戻すことができるでしょうか。障がい者に対する差別・部落に対する差別などと同様、正しく理解・認識することが重要です。2009年4月から施行されている「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」の基本理念にもあるように、入所者の生活環境が地域社会から孤立することなく、安心して豊かな生活を営むよう配慮しなければならぬこと、何人も、ハンセン病の患者であつた方々に対して、差別すること、その他の権利利益を侵害する行為の禁止などがありますが、絵に描いた餅にならないように、私たち一人ひとりが、共に考え、行動し、実現していきたいと思えます。

ふるさと緑の便り

菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 きくちふるさと水源交流館 ☎0968(27)0102

昔ながらの手仕事・竹細工

皆さんの身近に「竹製のもの」がありますか？竹には抗菌・浄化作用があるといわれ、日本には昔から竹を生活に利用する知恵があり、とても身近なものでした。しかし、最近では生活様式の変化から竹に触れる機会も減ってしまったようです。

きくちふるさと水源交流館では、竹細工(竹とんぼ・竹笛)や竹のソーメン流し、竹箸づくりなど竹林整備・竹活用の啓発活動を兼ねた「遊びを通した竹細工プログラム」を行っています。

また竹細工好きな人々が集まり「水源竹の会」を発足しました。地域の竹を活用し、昔ながらの手仕事を楽しみ学んでいます。現在、毎月第1土曜日・午後2時から定例練習会を開催しています。水源竹の会は菊池にお住まいの人ならどなたでも参加できます。お気軽にお問い合わせください。



竹そうめん流し

韓国発見シリーズ ⑦

「行政都市」世宗市が誕生

「行政中心複合都市」として韓国政府が進めてきた世宗市の発足式が7月2日、同市で行われた。9月に首相室などがソウルから移転するのを皮切りに、2014年末までに9省を含む36の政府関係機関が移る予定だ。韓国中央部・忠清南道の燕岐郡などの自治体が合併して新設された世宗市は、面積はソウルの約4分の3の465平方キロ。世宗市は朝鮮の名君で、ハンブルを発明した4代目の王「世宗大王」の名から取った。現在10万人余の人口を2040年に50万人に増やす計画だ。

計画は、盧武鉉前政権が首都圏の過度な人口集中に伴う副作用を是正し、国土の均衡発展を目的に打ち出したが、憲法裁判所による違憲判決や政権交代など、何度も方針転換を余儀なくされた。

現在の李明博政権は、首都機能の分散は非効率として、大企業や大学を誘致する都市計画に軌道修正しようとしたが、国会の議決により原案通りに進められることになった。 世界に類を見ないモデル都市



菊池市役所 国際観光マネージャー 金相廷さん

を目指している世宗市は7つの特徴的なビジョンを掲げている。まず、世界初の環状型都市構造だ。中心部の緑地空間を自然のまま残し、その周辺に住居空間を配置する。そして、住居空間の外環を更に緑地が囲む二重の緑地ベルト構造だ。そして5無(電柱・ゴミ箱・立て看板・広告看板・路上駐車)都市の実現である。

しかし、新たな都市建設には多くの困難が予想される。世宗市では、政府機関庁舎、道路、住宅等が順次整備されているが、学校やショッピングセンターなどの日常生活に必要な施設整備の遅れが指摘されている。 また、一部報道では、教育や育児問題から世宗市移転を好まない世宗市急避シンドロームが首都圏に居住している国家公務員を中心に蔓延している。中央官庁も政府関連機関からソウル近郊の地方自治体への人材流出対策にさまざまな努力をしているとも報道されている。 韓国の行政首都の移転がこれからどうなるか気になる。